

・調査概要

対象：一般従業員全員（13人） 回収率 100%

1. 調査内容

<介護状況と見込>

- ・13人中11人が介護経験なしと回答。
- ・現在介護をしていない／介護経験がないと回答した13人中7人が今後5年間のうちに介護する可能性があるという回答。
- ・介護する可能性があるという回答した7人全員が介護することに対して不安を感じるという回答。
- ・また、不安を感じる理由として「公的介護保険制度の仕組みが分からない」「介護と仕事を両立する仕組みが分からない」と回答。

<介護関係制度認知状況>

- ・13人全員が介護の相談窓口の「地域包括支援センター」について名称を知っているが利用方法はわからない／名称も利用法も知らない、と回答。
- ・社内の相談体制について「相談できる雰囲気かどうか」という問いに対して回答した7人全員が、「相談できる雰囲気がある」と回答。
- ・介護保険制度の内容の把握具合については、13人全員が制度について詳しく知らず、その内の6人は「上記の中で知っているものはない」と回答。

<仕事と介護の両立>

- ・7人中6人が「介護をしながら仕事を続けられるか」わからない／続けられない、と回答。

<介護が発生した際の望ましい働き方、制度>

- ・介護が発生した場合に13人中10人が休業制度や支援制度を利用しながら介護と仕事を両立させたいという回答。
- ・また、13人中5人が介護休業期間中は仕事と介護の両立のための準備期間と考えている。

<労働状況>

- ・残業時間数について、13人中10人が週の半分以上は残業していると回答。
- ・有給取得については、13人中10人が「希望通り取得できた」と回答したが、2人は「希望通りに取得できていない」と回答。（残りの1人は勤務期間が半年未満で有給を取得していない為、わからないという回答）
- ・上司とのコミュニケーションは円滑だと回答したのが13人中11人で、13人中10人が同僚や部下とのコミュニケーションは円滑だと回答。

2. 調査結果からの課題

従業員全体を通して、介護を行ったことがない／介護の窓口となる地域包括センターに関してほとんど知らない／介護保険制度などをよく知らない、という介護に関する基礎的な情報の不足が見受けられる。

介護が発生した際には介護休業制度や短時間勤務制度などを利用し介護と仕事の両立を行いたい、というニーズは多いが、介護に関する支援制度について、制度の内容まで把握している従業員は非常に少なく、今後に向けて周知徹底が必要である。